

歴史書

9

2006
No. 167



足利政氏花押

足利義氏花押 B

通

信

『戦国遺文古河公方編』編纂後日譚／佐藤博信
歴史書新刊ニュース〈7・8月〉
歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈7・8月〉
歴懇リバイバル2006フェア書目一覧

歴史書懇話会

『戦国遺文古河公方編』編纂後日譚

佐藤 博信

(千葉大学大学院人文社会科学部研究科教授)

昨年の4月1日から今年の3月31日まで東京大学史料編纂所で国内研究員として在籍した。これが最後の国内研修であり、何らかの実績を残したいと思った。研修場として四階の一部屋が与えられた。外国人研究員と同室であった。外国人研究員の多様な学問関心とその古文書解読能力には驚いた。また同室の池上裕子さんとは、研究のこと、故永原慶二先生のこと、出身地越佐のこと、など種々話が出来て有意義であった。その他、次代を担う若い研究者(PD)が土日返上で研鑽を積んでおられたのも、印象的であった。

もちろん、この間、指導教員久留島典子さん以下多くの方々に種々御教示頂いた。皆さんにとっても親切にして頂いた。図書部の方々も同様であった。万事にわたって開かれた史料編纂所という思いを強くした。学部生の頃利用した頃の史料編纂所とは凡そ雰囲気を変えた。地下にあった狭い閲覧室、二階の図書カードが並べられた薄暗い部屋、玄関入って右側にあった男女兼用の大便所など遠い昔の様に思えた。史料編纂の殿堂と同時に史料利用者に優しい研究所というイメージへの転換であった。東大も大学説明会を実施する時

代となり、その際、高校生が一階の常設展示を見学していたのがとても印象的であった。

こうした史料編纂所に104回ほど通った。次年度が人生の節目の年に当たることから、これまでの研究を総括出来ないかと考え、三つの課題を立てた。尊敬する日蓮大聖人に倣って三大誓願を立てたのである。①卒論・修論の前後に書いた越後中世史関係の研究を纏めること、②院生時代に書いた古河公方足利氏や後北条氏関係の研究を纏めること、③古河公方足利氏関係文書を集大成すること、であった。①②③の作業を同時並行的に進めた。

①②は遙か昔の研究であり、自分ながらためらいもあったが、滝川恒昭・黒田基樹両氏のお勧めもあって決断した。すでに学問的評価が定まったものである以上、大幅な趣旨の変更をとまなう書き換えは不可能なものの、発表論文の形態のまま纏めることには躊躇するところがあったので、注などで引用文献の確認と同時に最低、史料の出典などを再確認する様に心掛けた。本来ならば、さらに進んで影写本などに当たって再確認すべきであったが、③との同時並行的作業から時間的余裕がなか

った。入稿したのが8月18日、初校が出たのが10月16日であった。その校正は、旧受講生でその道のプロである山口偉理子さんをお願いした。

その成果は、『越後中世史の世界』（岩田書院、2006年4月）と『中世東国足利・北条氏の研究』（岩田書院、2006年5月）として結実した。

問題は、研修の最大目標である③であった。古河公方五代（成氏・政氏・高基・晴氏・義氏）と氏姫を中心に、芳春院殿（晴氏室）を含めた一族（基頼他）、雪下殿・小弓公方系一族（定尊・尊厳・義明・義純・頼淳・国朝）の発給・受給文書を集大成しようとするものである。特に雪下殿・小弓公方系一族については十分検討されてこなかったため、その全面的開示が必要と思われた。原稿は出来ていたが、年末詳文書の年代比定や脱漏文書の再点検に時間が掛かり、一応の踏ん切りをつけて入稿したのが、①②よりも早い7月28日であった。その後の校正に十分時間を掛ける必要を痛感したからである。初校が出たのが、11月2日であった。これから日々正念場であった。内校担当の今井明子さんの協力をえて作業を進めた。

具体的には、ゲラ刷の文書一点一点を影写本・謄写本・写真帳・資料集などで確認する作業であった。史料編纂所にはないものは、内閣文庫・



足利義明花押 A



足利晴氏花押 A

千葉県史料研究財団・群馬県立文書館などで調査をした。同じ文書でも、影写本・謄写本・写真版などでの点検が必要であった。よりよい写本の追究と同時に各々の特長を踏まえた総合的な判断が重要と考えたからである。文書自体の情報を出来るだけ記載したいと思った。原本調査を前提とする料紙の紙質や折りの問題は将来に託さざるを得なかったが、料紙の形状（縦紙・堅切紙・切紙・折紙・小切紙など）や花押形・印章形、及び封紙ウハ書・切封墨引の有無についてなどである。それらは、古河公方文書の書札礼上の問題とも結び付く事柄であるし、従来の史料集では必ずしも正確さを要する情報とはみなされてこなかったからである。また花押形などの問題は、周知の様に年末詳文書の大方向の年代比定に有効である。ただ同形にみえても、微妙な相違があり、より詰める必要があったが、そこまでは書籍の性格上できなかった。その意味で、巻末の「花押・印章一覧」は、代表的な花押形に留まるものであった。

そして、再校の段階で、参考文書として本状の副状及びそれに準ずる文書を加えた。公方文書にとって副

状は、一体的な存在である。古河公方足利義氏のそれは、奉行人芳春院周興・松嶺文書の立項によってほぼカバーできていたが、それ以前の公方のそれは、必ずしも特定氏族に固定化されていなかったことも相俟って残存状況がよくない。また雪下殿のそれは、煩雑を極める。「錢阿寺文書」には膨大な副状類が存在するが、その研究の不十分さもあって、全面的採録には至らず、古河公方同様副状として明確なものに限らざるをえなかった。参考文書は、当初から計画されるべきであったと反省している。

こうして三校まで試行錯誤が繰り返された。と同時に進めた新出文書の発掘にも史料編纂所はなお有効であった。縣市町村史編纂で大方の古河公方文書は、紹介された感が強い。事実影写本や謄写本から新出文書を見つけるのは、難しいと一般的には見られていた。ただ若干ではあるが、新出文書の確認も出来た。なお可能性を否定しきれなかった。そのうえで、これからは、写真帳やレクテグラフの総めぐりが必要といわれていた。確かにそれらから新出文書を見つけることが出来たが、前者

は膨大な量であり、後者は大判で取り扱いが難しく、書庫に入れて自由に閲覧出来ても困難をとまなうものであった。限られた時間内での総めぐりなど所詮不可能であった。やはり今回の集成は、出来るだけ校訂を厳密にすることと、文書情報を充実させることを第一課題とせざるをえないことに集約された。

最終的には補1通・参考文書54通を含め1559通の収録となった。これでもって3月末日に至り、研修は終了した。体力的にも、正直限界であった。4月下旬に出来上がったのが『戦国遺文古河公方編』(東京堂出版)である。その後、残念ながら誤認・誤植のみならず収録漏れの足利頼淳文書1通の存在も確認された。後者は、わたしも担当した『千葉県の歴史資料編中世5』に収録済みのものであった。能力の限界とはいえ、恥じ入るばかりである。今はただ時間との闘いの中で、ともかく三大誓願を実現出来たことを素直に喜びたいと思う。

表紙写真

『戦国遺文古河公方編』所載の「花押・印章一覧」より採録。

新刊ニュース

7・8月発行図書 *発売は予定のものもあります

歴史一般

辞典／年表・地図／歴史学・補助学

大宰府古代史年表

付 官人補任表
川添昭二監修 重松敏彦編
菊判 700頁 16,800円 吉川弘文館〔8月刊〕

536年～1156年の大宰府関係記事を集成。対外関係、西海道地域との関わり、観世音寺の歴史、平安後期大宰府官人の動向がわかる便利な年表。
4-642-01433-0

永原慶二の歴史学

永原慶二追悼文集刊行会編
A 5判 402頁 6,300円 吉川弘文館〔7月刊〕

戦後の歴史研究をリードした永原慶二。その教え子や同僚が、平和と人権の確立を求めた「永原史学」を振り返る。年譜・著作目録も収録。
4-642-07959-9

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

考古学はどう検証したか

春成秀爾著
A 5判 520頁 6,195円 学生社〔8月刊〕

消えた北京原人の骨、弥生時代の年代論争、遺物・遺跡の模造・偽造・捏造、疑問の神武陵や明石原人についてなど、考古学上の問題点を鋭く追求する。
4-311-30065-4

古代飛鳥「石」の謎

奥田尚著
四六判 208頁 2,310円 学生社〔8月刊〕

益田岩船・酒船石・亀石などの石造物、古墳、寺院、宮殿、祭祀場の石など、飛鳥に伝わる石材から飛鳥の「石」と「飛鳥時代」の謎に迫る。
4-311-20301-2

邪馬台国時代のツクシとヤマト

奈良県香芝市二上山博物館編
四六判 296頁 2,520円 学生社〔8月刊〕

邪馬台国の所在地は九州か大和か？ 卑弥呼の眠る墓はどこか？ 弥生時代の各地域の最新研究から、邪馬台国と卑弥呼の謎に、九州説対近畿説で激論を展開。
4-311-20292-X

身体表現の考古学

光本 順 著
A 5判 300頁 4,200円 青木書店〔7月刊〕

土器や銅鐸に描かれた人形、人物植輪、埋葬施設における副葬品配置などを、身体という新たな視点から検証し、弥生・古墳時代像をとらえなおす。
4-250-20619-X

蝦夷の考古学

松本建速著
B 5判 250頁 6,300円 同成社〔7月刊〕

古代日本国によって、「蝦夷」と書き記された人々は、いかなる存在であったのか。考古学的方法を縦横に駆使しつつ、その実態に迫る。
4-88621-363-4

古代中国 天命と青銅器

学術選書014・諸文明の起源5
小南一郎著
四六判 270頁 1,890円 京都大学学術出版会〔8月刊〕

青銅器に刻された銘文を読み解くことで、王権は「天命」によるとする古代中国独特の観念を軸に、初期国家の形成過程を平明に描く。
4-87698-814-5

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

常呂遺跡群

日本の遺跡13

武田 修著

四六判 190頁 1,890円

同成社〔7月刊〕

縄文時代からアイヌ文化期までの住居址が無数に広がる常呂の大集落遺跡について、各時期の特色を的確に押さえつつ、通史的に解説する。 4—88621—364—2

両宮山古墳

日本の遺跡14

宇垣匡雅著

四六判 192頁 1,890円

同成社〔8月刊〕

岡山県第三位の規模を持ち五世紀の有力首長墓と考えられる巨大古墳を陪塚・周濠など多方面から捉え、吉備の古墳時代を明らかにする。 4—88621—365—0

1 国家史

新体系日本史

宮地正人・佐藤信也著

A 5判 576頁 予価4,500円 山川出版社〔8月刊〕

古代から近代現代の四時代を、国家の観念とその社会への浸透諸手段、国家諸機能、およびその制度的仕組み、社会からの合意的調達の視点から言及した通史。4—634—53010—4

向かいあう日本と韓国・朝鮮の歴史 前近代篇 上巻

歴史教育者協議会・全国歴史教師の会編著

A 5判 260頁 予価2,800円 青木書店〔8月刊〕

日本と韓国の歴史教師が5年にわたり議論を重ね、まとめた日韓の歴史。先史時代から鎌倉新仏教の展開まで18テーマを、多数の図版とともに描く。 4—250—20617—3

向かいあう日本と韓国・朝鮮の歴史 前近代篇 下巻

歴史教育者協議会・全国歴史教師の会編著

A 5判 260頁 予価2,800円 青木書店〔8月刊〕

日本と韓国の歴史教師が5年にわたり議論を重ね、まとめた日韓の歴史。儒教(性理学)の展開から近代の幕開けまで17テーマを多数の図版とともに描く。 4—250—20618—1

『出雲国風土記』 註論

関和彦著

A 5判 1280頁 23,100円 明石書店〔8月刊〕

『出雲国風土記』の現地調査が可能な最後の段階との認識を基に著者が足でひもといいた十余年の研究の集大成。現場主義に裏打ちされた「生成」的検討の成果。4—7503—2376—4

隔莫記 総索引

『隔莫記』研究会編

A 5判 760頁 14,700円 思文閣出版〔7月刊〕

近世文化の最重要史料『隔莫記』の膨大な情報を人名(8000)・事項(8800)・社寺名(550)・地名(500)の4項目に分けて収録。 4—7842—1312—0

隔莫記 全7巻(本篇6巻・総索引1巻)

赤松俊秀 本文校訂・『隔莫記』研究会索引編集

A 5判 総5,130頁 73,500円 思文閣出版〔7月刊〕

近世文化揺籃期の社会相を知る最重要史料『隔莫記』を、総索引を付けて復刊。宮廷文化、茶道史、美術史など文化史の様々な分野に資する白眉の日記。 4—7842—1311—2

日本書紀研究 第二十七冊

横田健一先生米寿記念

横田健一先生米寿記念会編

A 5判 328頁 8,400円

塙書房〔7月刊〕

高峰を極める歴史家の論文を取める。【執筆著】千歳竜彦・塚口義信・豊田裕章・直木孝次郎・中村修・成清弘和・平林章仁・水谷千秋・山中鹿次・若井敏明。 4—8273—1527—2

日本古代国家形成史考

小林敏夫著

四六判 335頁 3,990円

校倉書房〔8月刊〕

日本古代史に部族制国家を規定するのは不適切で、邪馬台国段階から国家段階に入っていたと考え、伝承から史実に接近する記・紀の紀年論をとりあげた。 4—7517—3760—0

古事記の新研究

上田正昭編

A 5判 226頁 4,410円

学生社〔7月刊〕

古事記に描かれた古代日本の真実の姿とは？古事記の内容を細かく検討しながら、古代日本の姿を再検証し、伝承につつまれた真実を解明する論文集。 4—311—30066—2

古代を考える 多賀城と古代東北

青木和夫・岡田茂弘編

四六判 350頁 3,150円

吉川弘文館〔8月刊〕

古代国家が陸奥国に建設した政治・軍事の拠点＝多賀城。東北の黎明期から奥州藤原氏の滅亡まで、地域の具体的な姿を解き明かす。シリーズ完結！ 4—642—02196—5

日本古代の家族と村落

宮本 救著

A 5判 400頁 13,650円

吉川弘文館〔8月刊〕

古代律令国家において、家族と村落はどのような存在だったのか。戸籍と計帳、「家」観念、相続、村落構造など、制度と実態を検証する。 4—642—02450—6

十和田湖が語る古代北奥の謎

義江彰夫他編著

四六判 260頁 3,990円

校倉書房〔7月刊〕

秋田県小坂町で開催された表題のシンポジウムの記録集で、北奥の古代から中世への転換期の歴史を、文献史学・考古学・美術史学が一体となって解明。 4—7517—3750—3

王朝貴族の病状診断

歴史文化セレクション

服部敏良著

四六判 272頁 1,995円

吉川弘文館〔8月刊〕

平安貴族はどんな病気をもっていたのか。冷泉・花山・三条天皇や藤原道長・実資ら公卿の病状を現代医学の見地から診断した異色作。 4—642—06300—5

呪いの都 平安京

呪詛・呪術・陰陽師

繁田信一著

四六判 240頁 2,415円

吉川弘文館〔8月刊〕

貴族たちの陰湿な望みをかなえるために、都に暗躍する法師陰陽師。歴史の闇に隠された、呪いあう貴族の生々しい怨念と平安京の裏の姿とは。 4—642—07962—9

石造物が語る中世職能集団

日本史リブレット29

山川 均著

A 5変型判 120頁 840円

山川出版社〔8月刊〕

中国から渡来した石工の子孫は大和を中心に多くの優れた石造物を残した。それらの石造物を通じて、垣間見ることができると同時に、史料の語る中世社会を明らかにする。 4—634—54290—0

史料を読み解く 中世文書の流れ

久留島典子・五味文彦編

B 5判 168頁 1,995円

山川出版社〔8月刊〕

特徴的な中世文書を取り上げ、文書の作成から利用のあり方まで、流れにそって様式・機能を解説するとともに、史料の語る中世社会を明らかにする。 4—634—59044—1

使行録に見る朝鮮通信使の日本観

江戸時代の日朝関係

鄭章植著

四六判 480頁 6,090円

明石書店〔7月刊〕

両国の内政事情が通信使派遣にどんな影響を及ぼし、いかなる結果を生んだかに注目。使行録の丹念な読解から使行員の心情をも探り、善隣外交の内実を検証。 4—7503—2366—7

幕末日本の風景と人びと

F. ベアト写真集1

横浜開港資料館編

B 5判 200頁 2,940円

明石書店〔7月刊〕

幕末・明治期に滞在した外国人カメラマンが横浜・江戸・長崎など日本各地で撮影した風景、風物・風俗全236点を収録。巻末には解説「横浜写真小史」を付す。 4—7503—2369—1

江戸時代の古文書を読む 一寛政の改革

徳川林政史研究所監修

B 5判 156頁 2,415円

東京堂出版〔6月刊〕

天明の打ちこわしと寛政の改革など、4つのテーマについて、原文を掲げて解説・解説する。元禄時代(品切)・享保の改革・田沼時代に続くシリーズ4冊め。 4—490—20590—2

対馬からみた日朝関係

日本史リブレット41

鶴田 啓著

A 5 変型判 116頁 840円 山川出版社〔8月刊〕

日本と朝鮮半島の交流に深くかかわってきた対馬。朝鮮との貿易・外交において対馬藩が果たした役割や、藩政の推移を通して、近世の日朝関係を描く。 4—634—54410—5

天文方と陰陽道

日本史リブレット46

林 淳 著

A 5 変型判 98頁 840円 山川出版社〔8月刊〕

渋川春美以来の幕府天文方と、朝廷の陰陽頭・土御門家の動向を追いながら、近世における改暦について考察する。 4—634—54460—1

史料を読み解く 近世の村と町

森下徹・吉田伸之編

B 5 判 160頁 1,995円 山川出版社〔8月刊〕

各地の町や村に残る近世文書を取り上げ、その背後にある近世社会の歴史像に迫る。史料細部の解釈や、関連資料の引用など、歴史研究の手法を解き明かす。 4—634—59045—X

加藤高明と政党政治—二大政党制への道

奈良岡聰智著

A 5 判 464頁 7,140円 山川出版社〔8月刊〕

憲政会総裁として、政友会総裁の原敬とともに大正政治史を二分した加藤高明。その生涯を通じて、近代日本の政党政治を大きく捉えなおす。 4—634—52011—7

はじめて学ぶ日本の戦争(仮題)

歴史教育者協議会編

A 5 判 240頁 予価2,500円 青木書店〔8月刊〕

戦争体験者が教育現場からいなくなったいまこそ必要なハンドブック。これならわかる近代日本の戦争と植民地支配の歴史と現在。 4—250—20621—1

近代東アジアのグローバリゼーション

マーク・カプリオ編 中西恭子訳

四六判 272頁 2,940円 明石書店〔7月刊〕

グローバリゼーションを理論的な問題として検証。グローバリゼーションという思想がどう生まれ、植民地支配や情報通信分野にどう反映されていたかを探る。4—7503—2364—0

岐阜県の歴史散歩

歴史散歩21

岐阜県高等学校教育研究会社会科部会編

B 6 変型判 328頁 1,260円 山川出版社〔8月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おまな祭りや年表など付録も充実。 4—634—24621—X

静岡県の歴史散歩

歴史散歩22

静岡県日本史教育研究会編

B 6 変型判 320頁 1,260円 山川出版社〔7月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おまな祭りや年表など付録も充実。 4—634—24622—8

高知県の歴史散歩

歴史散歩39

高知県高等学校教育研究会歴史部会編

B 6 変型判 328頁 1,260円 山川出版社〔8月刊〕

史跡・文化財をたずね歩く都道府県別のシリーズ。文化財公開施設・散歩便利帳・参考文献・おまな祭りや年表など付録も充実。 4—634—24639—2

北方世界の交流と変容—中世の北東アジアと日本列島

天野哲也他編

B 6 判 232頁 予価1,800円 山川出版社〔8月刊〕

中世の北海道は北方の諸民族との交流が盛んであったことが、近年明らかにされている。その実態調査を進めている研究者と、高校教師が著した記録集。 4—634—59061—1

平泉・遠野・盛岡散歩24コース

散歩コース

大石直正著

新書判 240頁 1,470円 山川出版社〔7月刊〕

皆金色の平泉文化、遠野物語の世界、城下町盛岡のほか、時代に先駆けた学問の伝統、啄木・賢治ゆかりの地など、岩手の大地を満喫する24コース。 4—634—59410—2

広島・福山と山陽道

街道の日本史41

頼 祺一編

四六判 276頁 2,730円

吉川弘文館〔7月刊〕

発掘された中世都市「草戸千軒」と世界最初の被爆都市広島。厳島神社、戦国大名毛利氏、広島藩・福山藩と城下町など、地域独自の歴史と文化を辿る。 4-642-06241-6

徳島・淡路と鳴門海峡

街道の日本史44

石窪胤央編

四六判 304頁 2,730円

吉川弘文館〔8月刊〕

瀬戸内海東端の島・淡路から渦潮の鳴門海峡をへて徳島へ。吉野川を遡り、秘境祖谷山と遍路道をゆく。多彩な歴史と豊かな文化を再発見。 4-642-06244-0

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

中国キリスト教史研究 増補改訂版

山本澄子著

A 5判 408頁 9,975円

山川出版社〔7月刊〕

中国キリスト教200年の歴史と、指導者の思想を明らかにした本格的な研究。1972年本を増補改訂。 4-634-67370-3

中国古代文明

世界歴史の旅

鶴岡和幸・黄曉芬 共著

A 5判 152頁 2,625円

山川出版社〔7月刊〕

黄河や長江流域をはじめ中国各地に点在する古代文明の遺跡を、考古学の最新成果のもとで紹介するとともに、多くの出土品を見学できる博物館を案内する。 4-634-63330-2

共和国の女たち 自伝が語るフランス近代

ヒストリア24

長谷川イザベル著 長谷川輝夫訳

B 6変型判 200頁 1,365円 山川出版社〔7月刊〕

19世紀半ばから20世紀末に自らの人生を切り拓いた4人の女性たち。彼女たちが遺した自伝・回想から素顔のフランス近代を描く。 4-634-49195-8

現代フランスの病理解剖

長部重康著

四六判 300頁 予価2,800円 山川出版社〔7月刊〕

欧州統合の手本となった「フランス社会モデル」が破綻をきたしている。昨年来顕著となったフランス社会の亀裂の原因を探り、ヨーロッパの未来を考える。 4-634-64024-4

都市空間と民衆 日本とフランス

中野隆生編

四六判 240頁 予価2,800円 山川出版社〔7月刊〕

民衆の生活の場としての都市空間の形成と拡大、さらに都市へ流入した移入民の存在に着目し、日本とフランスの近代都市のあり方を比較・検討する。 4-634-64021-X

フランスの中世社会

王と貴族たちの軌跡 歴史文化ライブラリー-216

渡辺節夫著

四六判 240頁 1,785円

吉川弘文館〔8月刊〕

ヨーロッパ中世社会を知る、明快な入門書。貴族＝領主と対抗しつつ封建王制が確立する過程から、ヨーロッパ連合(EU)の原点を探る。 4-642-05616-5

史料で読む アメリカ文化史5

アメリカ的価値観の変容 1960年代—20世紀末

亀井俊介・鈴木健次監修／古矢旬編

A 5判 416頁 4,725円 東京大学出版会〔8月刊〕

ヴェトナム戦争と公民権運動は、アメリカ民主主義に深刻な内省を迫り、バクス・アメリカーナを大きく揺るがせる。1960年代以降、9・11まで、アメリカ的価値の変化を探究する。 4-13-025045-0

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

祭りの事典

佐藤和彦・保田博通編

四六判 496頁 2,940円

東京堂出版〔6月刊〕

日本の祭りや伝統的民俗芸能約1500を、1月から順に収録し、日時・場所・祭りの起源・由来・流れなどを解説する。交通手段とホームページも紹介した。 4—490—10695—8

草双紙事典

叢の会編

A 5判 400頁 6,825円

東京堂出版〔8月刊〕

草双紙(赤本・黒本・青本)約200につき、書誌・内容・典拠・特色を解説する。多数の絵と複製・翻刻、参考文献を掲載。巻末には書誌用語解説なども付す。4—490—10693—9

世界の民族衣装の事典

丹野郁監修

B 5判 416頁 21,000円

東京堂出版〔8月刊〕

世界各地の民族衣装を、60余の国や地域ごとに、オールカラーの写真と図版で解説する。衣装の特徴だけでなく、着方や素材にまで言及した本格的な事典。 4—490—10668—8

シリーズ都市・建築・歴史10

都市・建築の現在

鈴木博之・石山修武・伊藤毅・山岸常人編

A 5判 384頁 4,410円 東京大学出版会〔8月刊〕

20世紀、西欧中心主義・資本主義の大量消費社会において生み出され続けてきた現代建築の方向性、都市・建築の未来を読み解く鍵として、ふたたび「歴史」に立ち返る。シリーズ完結! 4—13—065210—9

「封建」・「郡県」再考

東アジア社会体制論の深層

張翔・園田英弘共編

A 5判 412頁 6,825円

思文閣出版〔7月刊〕

東アジアの社会体制を表す「封建」と「郡県」という大概念を多角的に検討し、論理的枠組みや時代の要請による理論的発展の構造を解明する試み13篇。 4—7842—1310—4

倭と加耶の国際環境

東 潮著

A 5判 374頁 9,450円

吉川弘文館〔7月刊〕

古代、倭は東アジアの国々と活発に交流していた。月支国と邪馬台国の関係、巨大前方後円墳から、海峡を越えた交流に迫る国際関係史。 4—642—09306—0

大系真宗史料 特別巻

絵巻と絵詞

真宗史料刊行会編

B 4判 248頁 33,600円

法藏館〔8月刊〕

第一部では親鸞伝絵の主要五本をはじめ重要文化財指定の真宗関係の絵巻を全巻カラー、第二部では絵詞の代表的古写善本の全文をモノクロで掲載。初公開品多数。担当=小山正文 4—8318—5050—0

国家神道と民衆宗教

歴史文化セレクション

村上重良著

四六判 304頁 2,415円

吉川弘文館〔7月刊〕

国家神道を創出した明治政府は、人びとが救いを求めた民衆宗教に厳しい弾圧を加えた。国家神道と民衆宗教の対決を究明する問題作。 4—642—06299—8

古代仏教をよみなおす

吉田一彦著

四六判 264頁 3,570円

吉川弘文館〔8月刊〕

天皇号と日本国の誕生、聖徳太子の実像、行基の活動、女性の仏教信仰などの重要テーマを軸として古代仏教史像の再構築を試みる入門書。 4—642—07961—0

奈良・平安仏教の展開

速水 侑編

A 5判 320頁 10,500円

吉川弘文館〔8月刊〕

多様な背景や周縁から奈良・平安仏教の時代的特質や広がりを見直し、今後の研究を深化させる新視点を提示した、論文11編を取録する。 4—642—02451—4

日本医療史

新村 拓編

四六判 386頁 3,675円

吉川弘文館〔7月刊〕

平安人を襲った病、戦国の医療政策、国民皆保険制度の成立などを、豊富な表・図版を用いて詳説。命を守る闘い＝医療の歴史を振り返る。 4-642-07960-2

江戸狂歌本選集（第14巻） 人名索引

第14回配本（全14巻）

人名索引刊行会編

菊判 240頁 15,750円

東京堂出版〔8月刊〕

近世後期、江戸で夥しく刊行された狂歌本のうち、資料的に価値の高い74編を収録する。収録作品に収められた狂歌作者名の五十音索引。最終巻にて完結！ 4-490-30581-8

季刊東北学 第8号

東北芸術工科大学東北文化研究センター編

A 5判 200頁 2,000円

柏書房〔8月刊〕

特集は、「現代アジアを歩く」。いま、アジアを歩くことの楽しさ、面白さ、喜びをそれぞれの経験や体験に根ざして記し、アジアの発見を読み解く。 4-7601-2978-2

カミとホトケのあいだ

宮田登 日本を語る6

宮田 登著

四六判 214頁 2,730円

吉川弘文館〔7月刊〕

八百万の神を持つ日本人にとって、神と仏とはどのような存在なのか。七福神や山の神・家の神などの信仰を探り、カミ信仰の原点に迫る。 4-642-07138-5

霊魂と旅のフォークロア

宮田登 日本を語る7

宮田 登著

四六判 248頁 2,730円

吉川弘文館〔8月刊〕

死に装束や野辺送りなどの葬送儀礼、両墓制や将門伝説から、穢れ観・霊魂観を解明。観音霊場巡りや四国遍路に旅の民俗の意味を探る。 4-642-07139-3

朝顔明鑑鈔

影印と翻刻

三村森軒著・小笠原亮編

A 5判 336頁 4,200円

思文閣出版〔7月刊〕

文化・文政期の第一次朝顔栽培ブームに先がける朝顔史料として重要な三村森軒著『朝顔明鑑鈔』を影印・翻刻紹介。本草学や園芸文化史研究に資する。 4-7842-1315-5

茶道と恋の関係史

岩井茂樹著

A 5判 230頁 3,990円

思文閣出版〔7月刊〕

「恋は茶道の精神に反する」とされた——谷崎潤一郎の隨筆にある興味深い一節をきっかけに、恋歌と茶道の関係を茶書や茶会記に探求した書。 4-7842-1313-9

中世ヨーロッパ放浪芸人の文化史

しいたげられし楽師たち

バツハフィッシャー著 森貴史ほか訳

A 5判 288頁 4,830円

明石書店〔7月刊〕

起源、偏見や差別、社会的地位、教会や宮廷における位置づけと役割など、中世ヨーロッパの楽師の全貌を豊富な文献史料と図版を基に多面的に描き出す。 4-7503-2372-1

制度化される新聞記者

その学歴・採用・資格

河崎吉紀著

A 5判 182頁 2,940円

柏書房〔7月刊〕

記者の制度化の枠組みは、1920年代に整えられた。現在に至る「サラリーマンとしてのジャーナリスト」の成立過程を、膨大なデータによって描く。 4-7601-2964-2

伝記

安倍晴明 陰陽師たちの平安時代

歴史文化ライブラリー-215

繁田信一著

四六判 208頁 1,785円

吉川弘文館〔7月刊〕

彼はなぜ陰陽師となったのか。安倍晴明最大の謎に迫り、妖怪や怨霊を退治する昨今の「超人」イメージではない等身大の実像を描く。 4-642-05615-7

雑誌

日本歴史 8月号(第699) = 7月刊
9月号(第700) = 8月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生一年間5,000円〔送料込〕

A5判 699号 146頁 780円
700号 178頁 1,000円

吉川弘文館〔7・8月刊〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

第7回〈日本歴史学会賞〉

主催 日本歴史学会

日本史研究の発展と研究者への奨励を目的とする「日本歴史学会賞」は、本会評議員の推薦に基づき、理事会における選考の結果、下記の通り第7回受賞者を決定しました。

◆受賞者 渡邊 俊氏

受賞論文「使庁と没官領—「宝鏡寺文書」所収売券案の考察—」
〔『日本歴史』第681号〈2005年2月号〉掲載、吉川弘文館発行〕

◆受賞者略歴

渡邊 俊(わたなべ・すぐる)

1977年9月、秋田県秋田市生まれ

2002年3月、東北大学大学院文学研究科博士前期課程修了

現在、東北大学大学院文学研究科博士後期課程在学

◆選考の経緯

昨年本誌に掲載された選考対象論文は45本であった。評議員の推薦に基づき、また比較的若い研究者への奨励という本賞の趣旨に即して慎重に検討した結果、断片的な一連の売券を読み込んで検非違使庁の動向を鮮やかに復元した点を高く評価し、渡邊俊氏の表記の論文を受賞作に決定した。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2006. 7・8

――青木書店――

- 貧困と疲弊 女性労働のいま 女性労働研究50号 女性労働問題研究会編 ……A 5判 1,575円 7月
フェミニズム哲学 ヘルタ・ナゲル＝ドツェカル著 平野英一訳…A 5判 予価4,500円 8月

――明石書店――

- 妖怪セラピー ナラティブ・セラピー入門 芥子川ミカ著 ……A 5判 1,890円 7月
ビデオジャーナリズム カメラを持って世界に飛び出そう 神保哲生著 ……四六判 2,520円 7月
リビアを知るための60章 塩尻和子著 ……四六判 2,100円 8月

――大月書店――

- わたしの息子はなぜイラクで死んだのですか シンディ・シーハン平和への闘い
レオン・スミス編 ……四六判 1,400円 7月
王と鳥 ～スタジオリブリの原点 高畑勲、藤本一勇ほか著 ……四六判 1,400円 8月
フィリピンの少女ピア 性的虐待を乗り越えた軌跡 中島早苗、野川未央著 ……四六判 1,400円 8月
ヒバクシャになったイラク帰還兵 劣化ウラン弾の被害を告発する 佐藤真紀編…四六判 1,400円 8月
増補新版 アインシュタインは語る アリス・カラプリス著 ……四六判 3,500円 8月

――京都大学学術出版会――

- 心理臨床学のコア 学術選書013・心の宇宙3 山中康裕著 ……四六判 1,575円 7月
学者たちへの論駁2 西洋古典叢書第Ⅲ期
セクストス・エンペイリコス著／金山弥平・金山万里子訳 ……四六変型判 4,410円 8月

――東京大学出版会――

- Campus Wide 東京大学教養学部英語部会編 ……B 5判 1,785円 7月
受難の意味 アブラハム・イエス・パウロ 宮本久雄・大貫隆・山本巍編著 ……四六判 3,570円 7月
ゲーデルと20世紀の論理学1 ゲーデルの20世紀 田中一之編 ……A 5判 3,990円 7月
統合失調症 基礎から臨床への架け橋 パーチウッド／ジャクソン著 丹野・石垣訳
……A 5判 3,360円 7月
日本IC産業の発展史 共同開発のダイナミズム 金容度著 ……A 5判 5,250円 7月
世代間関係から考える公共性 公共哲学20 鈴木興太郎・宇佐美誠・金泰昌編
……A 5判 4,935円 7月
社会格差と健康 社会学からのアプローチ 川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編
……A 5判 3,570円 8月
アート／表現する身体 アフォーダンスの現場 佐々木正人編 ……A 5判 3,360円 8月
不安障害の臨床心理学 叢書 実証にもとづく臨床心理学 坂野雄二・丹野善彦・杉浦義典編
……A 5判 3,780円 8月

地方分権と財政調整制度 改革の国際的潮流 持田信樹編 A 5判 5,040円 8月

— 同成社 —

崩壊する日本農業 — 農業者の告発 工藤 司著 四六判 1,575円 7月

— 法 藏 館 —

いのちのゆくえ 医療のゆくえ 佐々木恵雲著 四六判 1,050円 7月

科学文明を生きる人間 松田英毅・松田正典著 A 5判 1,575円 7月

法華経に聴く 小林隆彰著 A 5判 未定 8月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書懇話会
役員幹事改選
のお知らせ

当会は6月9日に
平成17年度総会を
開き、役員幹事を
右記の通り決定い
たしました。

代 表 幹 事 (吉川弘文館) 横井真木雄
書 記 ・ 幹 事 (大月書店) 大和 定幸
会 計 ・ 幹 事 (東京堂出版) 馬場 辰也
特設店・企画委員会幹事 (刀水書房) 中村 文江
販 売 委 員 会 幹 事 (学 生 社) 林 義則
弘 報 委 員 会 幹 事 (同 成 社) 吉田 幸一

北の防御性集落と激動の時代

三浦圭介・小口雅史他編 《新刊》A5判・三〇六頁・三、五〇〇円
古代北日本各地に出現した戦乱の時代を思わせる集落につ
いて、斯界のエキスパートが興味つきない議論を展開する。

現代考古学事典・縮刷版

安齋正人編 《新刊》A5判・四四四頁・三、四〇〇円
現代の考古学研究に必須の一〇〇タイトルを厳選し、最新情報
を網羅した「読む事典」。二〇〇四年刊行版を好評により縮刷化。

数の日本史事典

阿部 猛著 四六判・三〇〇頁・九、九五〇円
単位語から歴史的事件に至るまで、ジャンルや時代を超え
数に因んだ重要用語を収録、読んで面白い日本史事典。

蝦夷の考古学

松本建速著 《新刊》B5判・二五〇頁・六、六〇〇円
『日本書紀』以下に蝦夷と書き記された人々は誰だったのか。
考古学的視点から、通説とは異なる蝦夷の実像に迫る。

崩壊する日本農業——農業者の告発——

工藤 司著 《新刊》四六判・八四頁・一、五七五円
日本の米作の回生を目指し一人改革に取り組んだ著者が、農
政不在の日本農業の貧困な実情を悲痛な思いで訴える。

新刊 ⑫ 秋田城跡

最北の古代城跡 伊藤武士著・二、八九〇円

近刊 ⑬ 常呂遺跡群

先史オホ・ツク沿岸の大遺跡群 武田 修著・二、八九〇円

- 〔既刊〕①西都原古墳群 ②吉野ヶ里遺跡 ③虎塚古墳
④六郷山と田染荘遺跡 ⑤瀬戸竊跡群 ⑥宇治遺跡群
⑦今城塚と三島古墳群 ⑧加茂遺跡 ⑨伊勢斎宮跡 ⑩
白河郡衙遺跡群 ⑪山陽道駅家跡

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
TEL.03-3239-1467 FAX.03-3239-1466 振替00140-0-20618
http://homepage3.nifty.com/douseisha E-mail douseisha@nifty.com



歴懇リバイバル2006

秋の共同復刊企画

- * 名著・貴重書・基本図書を復刊！
- * 日本史を中心に考古学、宗教史、東洋史、国文学、歴史社会学、伝記など幅広いラインナップ！
- * いずれも少数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- * 復刊書目は2006年7月31日現在13社47点。

主催：歴史書懇話会

発売：2006年10月上旬

青木書店	03-5997-4051	東京堂出版	03-3233-3741
校倉書房	03-3203-4851	刀水書房	03-3261-6190
柏書房	03-3947-8251	同成社	03-3239-1467
京都大学学術出版会	075-761-6182	塙書房	03-3812-5821
学生社	03-3857-3031	法藏館	075-343-5656
思文閣出版	075-751-1781	吉川弘文館	03-3813-9151
東京大学出版会	03-3811-8814		

※著者名につづく（ ）は初版年、出版社名につづく〔 〕は分類を示します。

東京裁判ハンドブック

東京裁判ハンドブック編集委員会編（1989）

A 5判 312頁 4,200円

青木書店〔現代史〕

4—250—89013—9

極東国際軍事裁判（東京裁判）と各地のBC級戦犯裁判の経過・判決・処遇など、その内容を具体的かつ平明に解説する。

飢死した英霊たち

藤原彰（2000）

四六判 240頁 2,625円

青木書店〔現代史〕

4—250—20115—5

日本軍戦没者のうち140万人が餓死だった！補給の途絶、降伏の禁止によって強いられた「名誉の戦死」の実相を、膨大な資料を駆使して明らかにする。

記憶から歴史へ

P. トンプソン著／酒井順子訳（2000）

四六判 592頁 5,040円

青木書店〔歴史学〕

4—250—20220—8

文献史料には現れない、マイノリティや女性をはじめ庶民の日常の姿などを、聞き取りによって再構成する歴史研究の手法オーラル・ヒストリー。

日本中世の国政と家政

井原今朝男著（1995）

A 5判 598頁 14,700円

校倉書房〔中世史〕

古代国家から継承した小規模な国政機関と新たにつくりだされてきた家政機関（公卿や寺社などの権門の行う家産経営）との分裂と統合の歴史として分析した。4—7517—2460—6

古代出雲大社の復元

大林組プロジェクトチーム編（1989）

四六判 260頁 2,310円

学生社〔古代史〕

48メートルもの高さを誇ったという謎に満ちた「古代出雲大社」そして巨大柱根の発見。大林組の技術者たちがコンピュータを駆使して挑んだ古代史像の真実。4—311—20236—9

日本全国古墳学入門

土生田純之編（2003）

A 5判 256頁 2,940円

学生社〔考古学〕

古墳とは何か？古墳から何が分かるか？古墳の特色と変遷、遺物、文献などから、古代日本の文化、政治を解き明かす。全国の古墳を地図入りで詳しく解説。4—31—130047—6

国民国家論の射程

西川長夫著（1998）

四六判 288頁 2,625円

柏書房〔日本史〕

絶えず人は無自覚に国民国家に回収され続けている。そこから自由であることの不可能性を自覚しつつ「非国民」としてしか自由を味わえない状況を抉る。4—7601—1617—6

京大東洋学の百年

磯波護・藤井譲治編（2002）

四六判 296頁 2,520円 京都大学学術出版会〔東洋史〕

内藤湖南から吉川幸次郎に至る8人の代表的な学究をとりあげ、その生涯と業績を綴ることで1世紀におよぶ「京大東洋学」の歩みをたどる。4—87698—439—5

朝鮮通信使の研究

李元植著（1997）

A 5判 730頁 15,750円 思文閣出版〔日朝交流史〕

江戸時代、日本と朝鮮の善隣外交において根幹をなしていた朝鮮通信使—数多くの貴重な文献・史料の検証から、政治外交と文化交流の両側面を捕える。4—7842—0863—1

増補 蓮月尼全集

村上素道編（1980）

菊判 710頁 12,600円 思文閣出版〔日本近世文学〕

江戸末期の歌人である大田垣蓮月。歌、消息、伝記を取めた『蓮月尼全集』（昭和2年）に、新たに発見された歌集、書画帖（花くらべ）、消息51通を増補。4—7842—0182—3

中国医学思想史

石田秀実著 (1992)

四六判 352頁 3,990円 東京大学出版会〔医学史〕

身体は自然に向かって開かれた気の流れの東であり、病いも一つの有機的なコスモスの中にある。もう一つの医学の可能性を問う本格的な思想史。 4-13-013037-4

カクレキリシタンの信仰世界

宮崎賢太郎著 (1996)

A 5判 316頁 5,565円 東京大学出版会〔文化史〕

カクレキリシタン信仰とは、過去の滅びた宗教ではなく、生きて変化を遂げているものである。カクレキリシタン信仰の変容を追い、その本質に迫る労作。 4-13-010402-0

南北戦争と国家

長田豊臣著 (1992)

A 5判 280頁 6,825円 東京大学出版会〔文化史〕

南北戦争を契機に急速に連邦政府の機能が拡大し、「国家」と「国民」が創造された。この内戦がもたらした「国家形成」の過程とはいかなるものかを描く。 4-13-026105-3

古文書解読事典 (改訂新版)

大石学監修 (2000)

A 5判 448頁 2,940円 東京堂出版〔古文書〕

第1部では江戸時代の形式の異なる古文書を紹介し、第2部では入門者のために古文書の読み方を示し、第3部では文書館を利用する際の知識を紹介した。 4-490-10559-2

古代豪族系図集覧

近藤敏喬編 (1993)

菊判 470頁 9,450円 東京堂出版〔系図〕

日本人の源流をなす神々と皇統、古代豪族の系図を可能な限り追求した大系図集。人名には注記を付し、異説についても懇切な注解を施した。索引付き。 4-490-20225-3

平安時代儀式年中行事事典

阿部猛・義江明子・相曾貴志編 (2003)

A 5判 386頁 6,825円 東京堂出版〔文化史〕

平安時代の宮中を中心とした、200を超える儀式年中行事を、月別に並べ、儀式の流れ、歴史の変遷、意義を解説する。268の典典の解題と用語900を解説。 4-490-10624-6

修験道辞典

宮家準編 (1986)

A 5判 560頁 10,290円 東京堂出版〔民俗宗教〕

日本の宗教や文化と深くかかわる修験道の全貌を体系的に解明すべく1500項目を収載し、綿密に編纂。解説のほか文献目録をはじめ、14種類の付録を収む。 4-490-10216-X

お伽草子事典

徳田和夫編 (2002)

菊判 560頁 7,140円 東京堂出版〔文化史〕

中世後期から近世初期のお伽草子から450作品と関連項目100を収め、物語としての興趣や文学史的意義、時代環境、研究の現況などを解説する。年表付き。 4-490-10609-2

日蓮辞典

宮崎英修編 (1978)

B 6判 374頁 3,675円 東京堂出版〔宗教〕

危機的な社会状況の中で法難や迫害に対し、敢然と法戦を展開した日蓮の生涯の事蹟とその思想や著作など750項目を収め、日蓮の宗教の全貌を明かにした。 4-490-10109-0

家と同族の歴史社会学

藤井勝 (1997)

A 5判 358頁 10,185円 刀水書房〔歴史社会学〕

第1回日本村落研究学会研究奨励賞受賞。有賀・喜多野論争に続き、家と同族を歴史の実証的に論じ、日本社会の根源に迫る。近世村落にヨコの関係を発見。 4-88708-206-1

入門者のための考古学教室

山岸良二 (1995)

四六判 240頁 1,995円 同成社〔考古学〕

考古学に興味を持っている人、これから学びたいと思っている人に、旧石器時代から江戸時代までをカバーしながら、わかりやすく概説する考古学入門書の決定版。 4-88621-157-7

井戸の考古学

鐘方正樹 (2003)

A 5判 208頁 3,885円

同成社〔考古学〕

井戸は考古学の宝庫であり、過去と現在をつなぐタイムトンネルともいえる。建築技術・構造的視角から分析し、東アジアの広がりの中でその展開を追究する。4—88621—284—0

新稿社寺参詣の社会経済史的研究

新城常三著 (1982)

A 5判 1452頁 33,000円

塙書房〔中世史〕

平安貴族の御獄詣・熊野詣や中世の武士、近世にいたる民衆の参詣等を焦点に社寺参詣の発展や衰退、社会経済上の根拠、信仰内容等を総合的に論証する。4—8273—1056—4

万葉集相聞の世界(オンデマンド版)

伊藤博著 (1959)

B 6判 274頁 2,730円

塙書房〔国文学〕

文学史的態度を基本とし、表現論、享受論、背景論、編纂論などを統一する方法から万葉を彩る相聞歌の消長の歴史、現実生活における実態を解明する。4—8273—3503—6

王朝女流文学の形成(オンデマンド版)

秋山虔著 (1967)

B 6判 262頁 2,730円

塙書房〔国文学〕

小町、伊勢御、道綱母、これら王朝前期女流作家の文学活動の独自性をとらえ、その精神の形成する姿を解明する。著者往年の名著蜻蛉日記を含む。4—8273—3557—5

源氏物語論(オンデマンド版)

清水好子著 (1966)

B 6判 276頁 2,625円

塙書房〔国文学〕

河海抄の準拠に導かれて源氏物語の骨組みの確かさを知ったという著者が注目すべき独自の源氏観・紫式部観を展開。文学の本質を精緻な筆で描き出す。4—8273—3550—8

日本人の身体観の歴史

養老孟司著 (1996)

四六判 328頁 2,310円

法蔵館〔社会思想史〕

日本の中世、近世、そして現代哲学の心身論から西欧の身体観までを論じる。固定観念、常識をくつがえし、人と世界の見方を一変させる、養老「ヒト学」の集大成。4—8318—7227—X

新・八宗綱要

大久保良峻ほか編 (2001)

四六判 346頁 3,570円

法蔵館〔史料〕

律宗、法相宗、天台宗、華嚴宗、真言宗、禪宗、浄土宗、浄土真宗、日蓮宗の概説、主要典籍と人物、教養についてコンパクトに解説。4—8318—7370—5

親鸞の家族と門弟

今井雅晴著 (2002)

四六判 210頁 1,890円

法蔵館〔史料〕

唯円、恵信尼、善鸞、関東の弟子たち、三代目覚如—豊富な史料を平易に読み解き、親鸞の生涯とその家族および弟子たちのリアルな実像を描く。4—8318—7482—5

増補 吾妻鏡の方法

事実と神話にみる中世
五味文彦著 (2000)

四六判 348頁 2,310円 吉川弘文館〔日本史・中世〕

東国に生まれた初の武士政権の誕生と再生の歴史。『吾妻鏡』の原史料から鎌倉政権像が鮮やかに再現され、その時代がよみがえる。各界絶讃の名著。4—642—07771—5

植民地神社と帝国日本

青井哲人著 (2005)

A 5判 384頁 9,975円 吉川弘文館〔日本史・近代〕

日本の植民地都市に必ず存在した神社が、中心部ではなく市街に面した山の稜線上に据えられたのはなぜか。グローバルな植民都市比較研究の出発点となる。4—642—03768—3

満鉄

「知の集団」の誕生と死
小林英夫著 (1996)

四六判 234頁 1,995円 吉川弘文館〔日本史・近代〕

満鉄に結集した「知の集団」は官僚統制の経済システムを開発、戦後日本経済の原型を創出した。植民地支配から、戦前・戦後日本の断絶と連続を考える。4—642—07494—5

- 聖徳太子** (人物叢書)
坂本太郎著 (1979)
四六判 256頁 予1,995円 吉川弘文館〔伝記・古代〕 4-642-05001-9
- 日本史上不世出の偉人。史実と伝説を峻別し、推理や憶測を排し透徹の史眼で描く太子伝の決定版。
- 藤原仲麻呂** (人物叢書)
岸 俊男著 (1969)
四六判 480頁 予2,415円 吉川弘文館〔伝記・古代〕 4-642-05069-8
- 太政大臣の身から一転して逆賊の汚名を受け、誅に伏した悲劇の宰相。波瀾の生涯を時代と共に精彩に描く。奈良朝史解明の秘鍵を握る人物として必読。
- 清少納言** (人物叢書)
岸上慎二著 (1962)
四六判 256頁 予1,975円 吉川弘文館〔伝記・古代〕 4-642-05066-3
- 和漢の学才にすぐれ、『枕草子』の作者として著名な、平安時代を代表する女流随筆家・歌人。学識と機智に富む稀代の才女の生涯を第一人者が鮮やかに描く。
- 畠山重忠** (人物叢書)
眞 達人著 (1962)
四六判 240頁 予1,890円 吉川弘文館〔伝記・中世〕 4-642-05072-8
- 鎌倉武士の典型、美談に富む誠実礼節の勇士。遂に北条氏に滅ぼされる。重忠に関するあらゆる史料を博搜し、数奇な生涯を鮮やかに綴る名著。
- 赤松円心・満祐** (人物叢書)
高坂 好著 (1970)
四六判 336頁 予2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕 4-642-05130-9
- 中世播磨の豪族赤松氏。円心の挙兵、満祐の將軍義教暗殺、政則による再興まで赤松一族の転変の歴史を、代々の事跡を地理、文化も視野に入れ描く。
- 足利義満** (人物叢書)
臼井信義著 (1960)
四六判 304頁 予1,995円 吉川弘文館〔伝記・中世〕 4-642-05150-3
- 南北朝を合体し有力諸大名を制圧、室町幕府の基礎を固める。明の皇帝もその国書に「日本国王」とした義満の生涯を、時代とともに描く正伝。
- ザヴィエル**
吉田小五郎著 (1959)
四六判 176頁 予1,680円 吉川弘文館〔伝記・中世〕 4-642-05115-5
- 東洋伝道の使徒。わが国最初の布教者。日本での苦難に満ちた2年余の伝道は、歴史上に画期的意義を持つ。その聖なる全生涯を正確・克明に描く。
- 三好長慶**
長江正一著 (1968)
四六判 304頁 予2,100円 吉川弘文館〔伝記・中世〕 4-642-05154-6
- 戦国末期に細川氏の家臣から実力で畿内を制圧。晩年は実権を失う。下克上の代表者と誤解される教養人の多彩な生涯を、激動の時勢と共にリアルに描く。
- 大友宗麟** (人物叢書)
外山幹夫著 (1975)
四六判 336頁 予2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕 4-642-05139-2
- キリシタン大名として有名な戦国武将。その領国支配体制やキリスト教保護、対外貿易などを解明。波瀾に富む生涯を豊富な史料を駆使して巧みに描く。
- 千 利休** (人物叢書)
芳賀幸四郎著 (1963)
四六判 384頁 予2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕 4-642-05057-4
- 茶聖利休！偉大な芸術的大天才。厳密な史料批判と鋭い洞察で、その人と芸術を戦国期の世相上に浮彫し、自刃し果る数奇な生涯を描く。利休伝の決定版
- 足利義昭** (人物叢書)
奥野高広著 (1960)
四六判 352頁 予2,310円 吉川弘文館〔伝記・中世〕 4-642-05182-1
- 室町幕府最後の悲劇の將軍。失脚後も見果てぬ夢抱いて転々諸国を流浪。運命に翻弄された数奇な生涯。巧みな筆致で、義昭とその周辺を追求する好著。

長宗我部元親 (人物叢書)

山本 大著 (1960)

四六判 304頁 予2,100円 吉川弘文館(伝記・中世)

戦国争乱の中、四国制覇を成し遂げた元親は、秀吉の麾下に属して近世封建体制確立への努力を傾けた。謎と波乱に満ちた生涯を正確な史料に基づき描く。 4-642-05103-1

三井高利 (人物叢書)

中田易直著 (1959)

四六判 320頁 予2,310円 吉川弘文館(伝記・近世)

近世日本最大の財閥三井家の基礎を築いた初代高利の伝記。大商人の生涯と事業を、史料を駆使して描いた本書は、蓄財の規範としても興味深い。 4-642-05127-9

井伊直弼 (人物叢書)

吉田常吉著 (1963)

四六判 480頁 予2,415円 吉川弘文館(伝記・近世)

安政の大獄を断行し、志士を弾圧！開国の先覚か違勅の元凶か？史料を駆使して幕末の激動の時代と人物を浮彫りにする。 4-642-05016-7

シーボルト (人物叢書)

板沢武雄著 (1960)

四六判 304頁 予2,205円 吉川弘文館(伝記・近世)

鎖国下に西欧科学を伝え、幾多の俊英を輩出すると共に、広く日本を世界に紹介する。蘭学史の権威が世界史的視野に立ち、その功業の史的意義を解明。 4-642-05113-9

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

教師と子どもたちに国歌斉唱の義務はない

教育に強制は

なじまない

君が代斉唱予防裁判における法廷証言

堀尾輝久著 46判・1050円

東京都教育委員会の日の丸・君が代強制の不当性を断罪した意見書と証人尋問の記録。教育の公権力からの自由人権としての教育などについて、教育思想と教育法に立脚した学問的水準から都教委の行政介入を鋭く批判する。

サマワは放射能で汚染されていた

46判・1470円

ヒバクシャになったイラク帰還兵

劣化ウラン弾の被害を告発する

佐藤真紀 編著 JIMINET 日本イラク医療支援ネットワークの協力
ジェラドマン・ユードン帰還兵連と家族が怒りの告発。衝撃的な放射能汚染の実態と、劣化ウラン兵器廃絶を求める国際運動をレポート。

ひとりの母親の訴えが全米を動かした

46判・1470円

わたしの息子はなぜイラクで死んだのですか

シンディ・シーハ、平和への闘い

レオン・スミス(ローン)スター・インコフラスト新聞社編著 上田秀子訳
休暇中のブッシュに面会を求めキャンプをはるひとりの母親の訴えが、全米に大きな反戦のうねりをつくった。歴史に残る26日間の記録。

歴史に残る法廷証言

税込価格

東京都文京区本郷2-11-9 電話03(3813)4651<代表>

大月書店

<http://www.otsukishoten.co.jp/>

残暑お見舞い申し上げます！ 今年も梅雨明けも遅く、各地で豪雨に見舞われるなど、地球規模での異常気象が続いています。又、世界各地で人々が宗教・思想の違いが認め合えずに戦っています。日本もかつての戦争を忘れることなく、率先して世界に平和をもたらせるようになりたいものです。そんな時に、歴史書はいつも私たちに知恵を与えてくれます。歴史書懇話会では折々に、日本と世界をより深く理解するためのフェアを提供できればと、会員社一同努力してまいります。よろしくお願い致します。

- 八文字屋書店天童店 - 連続ミニフェア 7月から
月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ32冊」のミニフェアが始まりました。
- ジュンク堂書店仙台店「歴懇連続フェア」開催中
第8回「戦争は他人事ですか？—近現代戦を考える」 8月～9月
- 須原屋本店「戦争は他人事ですか？—近現代戦を考える」フェア 8月
- 岩波ブックセンター信山社「歴懇連続フェア」開催中
「神社が分かる本のフェア」8月～9月
- 東京堂書店本店「歴懇・国語国文連続各社フェア」開始
第1回目「塙書房全点フェア」8月
第2回目「法蔵館全点フェア」9月
歴史書懇話会と国語・国文学出版会の各社順番に毎月1社ずつの連続フェアをお願いできました。神保町においての折にはどうぞ、お立ち寄りください。
- Books なかだ本店・Books なかだ香林坊店同時開催
「歴史書懇話会大フェア」9月～10月
地元の読書家の方々に歴史書を堪能して頂くための大フェア！
- フタバ図書 TERA 店「奥深き山陽の道フェア」8月1日～9月
広島・山陽道の関連書を大々的に集めました！
- 今井書店吉成店（鳥取市）「歴懇連続各社フェア」ロングランで開催中！
8月～9月「柏書房フェア」
- 本の学校今井ブックセンター（米子市）
2003年11月から今年2006年7月まで3年間にわたる連続各社フェアをありがとうございました。引き続き折々に歴懇フェアをお願いできることになりました。
- ブックセンタークエスト小倉本店・2階で「歴史書大フェア」開催！
入門書から専門書まで3000冊のビッグイベント、8月27日まで！

歴史書懇話会特設店

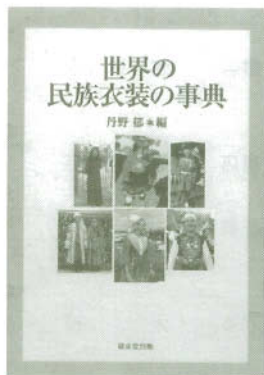
旭屋書店	札幌店	〒060-0005 札幌市中央区北5条西2-5 ステラプレイス5F ☎011-209-5181
ジュンク堂書店	仙台店	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-1-1 ☎022-265-5656
岩瀬書店	富久山店	〒963-8051 郡山市富久山町八山田 字大森新田36-1 ☎024-936-2220
煥乎堂	本店	〒371-0023 前橋市本町1-2-13 ☎0272-35-8111
須原屋	本店	〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-3-20 ☎048-822-5321
岩波ブックセンター	信山社	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-3 ☎03-3263-6601
東京堂書店	本店	〒101-0051 千代田区神田神保町1-17 ☎03-3291-5181
芳林堂書店	高田馬場店	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-26-5 F Iビル ☎03-3208-0241
ジュンク堂書店	池袋本店	〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-15-5 ☎03-5956-6111
有隣堂	本店	〒231-0045 横浜市中区伊勢佐木町1-4-1 ☎045-261-1231
Booksなかだ	本店専門書館	〒939-8212 富山市掛尾町180-1 ☎076-492-1192
うつのみや	柿木島本店	〒920-0962 金沢市広坂1-1-30 ☎076-234-8111
平安堂	長野店	〒380-0825 長野市末広町1355-5 ☎026-224-4550
精文館	書店	〒440-8517 豊橋市広小路1-6 ☎0532-54-2345
ちくさ正文館	本店	〒464-0075 名古屋市千種区内山3-28-1 ☎052-741-1137
ジュンク堂書店	京都店	〒600-0000 京都市下京区四条通柳馬場東 入ル立売東町20-1 ☎075-252-0101
旭屋書店	本店	〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-12-6 ☎06-6313-1191
ジュンク堂書店	大阪本店	〒530-0003 大阪市北区堂島1-6-20

		堂島アバンザ1～3F
		☎06-4799-1090
ジュンク堂書店	難波店	〒542-0075 大阪市中央区難波千日前12-7 Y. E. S. N A M B Aビル
		☎06-6635-5330
ジュンク堂書店	三宮店	〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-6-18
		☎078-392-1001
フタバ図書	T E R A	〒735-8588 広島県安芸郡府中町大須2-1-1 ダイヤモンドシティ・ソレイユ
		☎082-561-0770
りーぶる	天神	〒810-0001 福岡市中央区天神4-4-11 福岡ショッパーズプラザ6F
		☎092-713-1001
ジュンク堂書店	福岡店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-13 天神 MMT ビル
		☎092-738-3322

2006年8月現在

歴史書懇話会ホームページ	
http://www.hozokan.co.jp/rekikon/	
歴史書懇話会会員社ホームページ	
青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
大月書店	http://www.otsukishoten.co.jp/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
柏書房	http://www.kashiwashobo.co.jp/
京都大学学術出版会	http://www.kyoto-up.or.jp/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

世界の民族衣装の事典



丹野 郁監修

装いの世界遺産の数々を紹介。本格的な事典完成！

世界各国の民族衣装を六十余の国や地域で項目をたて、項目ごとに、カラー写真・図版をまじえてわかりやすく紹介し、解説した初の本格的な事典。収録した多種多様な民族衣装は、衣装の特徴だけでなく、着方や素材まで言及して解説している。 B5判 四〇〇頁 定価二一〇〇〇円

祭りの事典

佐藤和彦・保田博通編 平成の市町村合併後の一一〇〇の祭り・民俗芸能を北海道から沖縄まで開催月日順に紹介し、祭りの起源・由来・次第・衣装・演目などを解説。定価二九四〇円

暦を知る事典

岡田芳朗他著 暦についての基礎的な知識を提供し、暦の役割を一般の人が理解できるように解説した。暦法の変遷、暦の種類、時刻法などについて挿図を掲げて解説。定価二六二五円

草双紙事典

本邦初の解題、研究
事典完成！

叢の会編 初期草双紙の作品二四〇種について、多数の絵を掲載しながら作品(赤本・黒本・青本)の解題を内容、典拠、特色、複製・翻刻の順に施した。必要に応じて参考文献も付した初の解題事典。 A5判 四〇〇頁 定価六八二五円

古記録入門

高橋秀樹著 種々の日記の実例を紹介しながら必要な知識を提供定価三六七五円

記念日・祝日の事典

加藤迪男編 官公庁の制定した記念日から業界団体、企業・組合などの珍妙な記念日まで収録した。定価一六八〇円



〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-17

東京堂出版

TEL 03-3233-3741 (価格は税込)

<http://www.tokyodoshuppan.com>

◆歴史家は20世紀を如何に生きたか? 「20世紀の歴史学の形成に巨大な貢献を果たした」二十七人の列伝完成!

20世紀の歴史家たち (刀水歴史全書 45)

第5巻 日本編(続) 間もなく完成 (左記は収録予定の歴史家と執筆者、配列は生年順)

- 狩野直喜(戸川芳郎) 桑原隲蔵(磯波護) 矢野仁一(狭間直樹) 加藤繁(尾形勇) 中村孝也(中田易直)
- 宮地直一(西垣晴次) 和辻哲郎(榊山紘一) 一志茂樹(古川貞雄) 田中惣五郎(本間恂一) 西岡虎之助(西垣晴次)
- 岡正雄(大林太良) 服部之総(大濱徹也) 羽仁五郎(齊藤孝) 坂本太郎(笹山晴生) 前嶋信次(窪寺紘一)
- 中村吉治(岩本由輝) 竹内理三(樋口州男) 清水三男(網野善彦) 江口朴郎(木畑洋二) 堀米庸三(木村尚三郎)
- 林屋辰三郎(今谷明) 岸俊男(鎌田元一)

〔編集〕今谷明・大濱徹也・尾形勇・榊山紘一・木畑洋一
既刊 日本編「上・下」世界編「上・下」 四六・平均三〇〇頁 各五・五九〇

[内容見本呈]

復刻雑誌 『兵隊』

南支派遣軍報道部刊
〔解題〕大濱徹也

[内容見本呈]

〔推薦〕木村尚三郎・小沢昭一・鶴見俊輔・石田一郎
日中戦争中の広東に兵隊が自由に投稿する雑誌「兵隊」があった。初代編集長は火野葦平。兵隊の日常生活や思いが描かれた不思議な雑誌の復刻
四六倍判・36冊4合本、一九四二頁、投稿二二七四人、¥万二五〇

日本人と戦争

歴史としての戦争体験

大濱徹也著(刀水歴史全書 47) 四六・二〇〇頁 ¥五五〇

敵国日本

太平洋戦争時、アメリカは日本をどう見たか? (刀水歴史全書 61) 四六・二五〇頁 ¥三〇〇

太平洋戦争にいたる道

記勇児日本 (刀水歴史全書 74) 四六・二四四頁 ¥二九〇

ベトナム戦争のアメリカ

白井洋子(刀水歴史全書 75) 四六・二五〇頁 ¥二六五

9月刊

タイ国 近現代の経済と政治

P・ホバイン・チャット著
C・ベイカー

北原敦・野崎明監訳 日・タイセミナー訳 A5 七〇〇頁 ¥万七三六五〇

学生反乱

1969-1 立教大学文学部
松浦高嶺・速水敏彦・高橋秀 四六・二八頁 ¥二九〇

白人とは何か?

ホワイトネス・スタディーズ入門
藤川隆男編(刀水歴史全書 73) 四六・二五七頁 ¥三三〇

貧乏貴族と金持貴族

M・L・フリン著 / 水井三明監訳 / 和栗珠里訳 A5 二〇〇頁 ¥四〇〇〇

シベリアン・コントロールとデモクラシー

タイアモンド、ブラッドナー編 / 中道寿一監訳 A5 二八八頁 ¥三三〇

モンゴルの歴史

宮脇淳子著(刀水歴史全書 59) 遊牧民の誕生からモンゴル国まで 四六・二九〇頁 ¥二九〇

21世紀の「世界史の百科」を目指す!

「内容紹介」
第一期50冊の
①地域と海城 ②國家と主權
③都市と交易 ④文化と情報
⑤生活と環境

世界史の鏡 樺山紘編 全二冊 10月末刊行開始 四六・二五〇頁 予価 ¥二五〇〇



刀水書房

(価格は税込)

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1

東京都千代田区
東方学会本館

Tel.03-3261-6190 Fax.3261-2234
http://www.tousuishobou.com

新体系日本史 全18巻別巻2

① 国家史

8月末刊行 予価4725円

宮地正人／佐藤信／五味文彦／高埜利彦 編

古代から現代の各時代を、国家の観念と社会への浸透諸手段、国家の機能およびその制度的仕組み、社会からの合意調達の視点から言及した通史。 576頁

シリーズ既刊

- ② 法社会史……………592頁 4725円
- ③ 土地所有史……………560頁 4515円
- ⑥ 都市社会史……………448頁 4200円
- ⑪ 産業技術史……………514頁 4200円
- ⑫ 流通経済史……………552頁 4515円
- ⑬ 教育社会史……………484頁 4200円

北方世界の交流と変容

◆中世の北東アジアと日本列島

1995円

天野哲也／臼杵勲／菊池俊彦 編

中世の北海道と北方の諸民族との交流について実態調査を進めている研究者と高校教師が連携し、歴史教育にどのように反映させるべきか考察する。

現代フランスの病理解剖

長部重康 著

欧州統合の盟主フランスが揺れ、その

手本となった「フランス社会モデル」が破綻をきたしている。昨年来顕著となったフランス社会の亀裂の原因を探り、ヨーロッパの未来を考える。 2940円

都市空間と民衆 日本とフランス

中野隆生 編

民衆の生活の場としての都市空間の形成と拡大、さらに都市へ流入した移住民の存在に着目し、日本とフランスの近代都市のあり方を比較・検討する。日仏学術シンポジウムより。 四六判 予価2940円

中国キリスト教史研究

増補改訂版

山本澄子 著 中国キリスト教200年の歴史と、指導者の思想を明らかにした本格的な研究。 9975円

加藤高明と政党政治

7140円

◆二大政党内への道

奈良岡聰智 著

加藤高明の政治指導を分析し、戦前期における二大政党内の形成過程を明らかにする。 A5判 464頁

共和国の女たち 「ヒストリア24」

◆自伝が語るフランス近代

長谷川イザベル 著 長谷川輝夫 訳

1365円

一九世紀半ばから二〇世紀末に、時代と格闘しながら自らの人生を切りひらいた4人の女性たち。彼女たちが遺した自伝・回想から、素顔のフランス近代を描く。

山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13 税込
電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp/>

古代を考える多賀城と古代東北

青木和夫・岡田茂弘編 古代国家が蝦夷対策のため陸奥国に建設した政治・軍事の拠点と多賀城。東北の黎明期から奥州藤原氏の滅亡まで、地域の具体的な姿を解明。3月5日刊 ●8月の新刊

古代仏教をよみなおす

吉田一彦著 仏教の伝来は、日本の国家形成や文化にいつなる影響を与えたのか。天皇号と日本国の誕生、聖徳太子の実像など、常識への挑戦を試み、新事実を迫る。3月7日刊 ●8月の新刊

宮田 登 日本を語る 全16巻

毎月1冊刊行中
（内容案内送呈）

カミとホトケのあいだ

2760円
●7月の新刊

② 霊魂と旅のフォークロア

2760円
●8月の新刊

七福神や庚申信仰、山の神・道祖神・家の神などの信仰を探り、日本人のカミ信仰の原点に迫る。人魂・祖霊・野辺送り、ケガレ・観音霊場、四国遍路。カミ・観念の原点と、旅の民俗的意味を探る。

街道の日本史

第三期 各2780円

① 広島・福山と山陽道

頼 祺 一編
7月の新刊

発掘された中世都市「草戸千軒」と被爆都市広島。平家の厳島神社、戦国大名毛利氏、広島藩・福山藩と城下町など、地域独自の歴史と文化を探る。●7月の新刊

④ 徳島・淡路と鳴門海峡

石 塚 胤 典編
8月の新刊

細川氏と三好氏、蜂須賀氏と徳島藩、明治維新と福地騒動など、多彩な歴史を追求。人形浄瑠璃、祖谷の雲龍、大内兵衛に響かぬ文化を再発見。●8月の新刊

呪いの都 平安京

呪詛・呪術・陰陽師

繁田信一著 「道長さえいなくなれば、都に陥る」と陰陽師と、歴史の間に隠された呪い。あやしい怨念を読み解き、平安京の裏の姿を明らかにする。2014年11月 ●8月の新刊



日本医療史

新刊 拓 編
CONJUNE

古代から現代まで、人間は病と闘ってきたのか。平安京を襲った病、戦国の医療政策、越中富山の薬売り、国民皆保険制度の成立など、命を守る闘い。医療の歴史を振り返る。●7月の新刊

歴史文化ライブラリー 巻1705

安倍晴明

繁田信一著
●7月の新刊

彼はなぜ陰陽師となったのか。妖怪や怨霊を退治する時々の超人イメージではなく、等身大の実像に迫り、安倍晴明の最大の謎に挑む。

フランスの中世社会

王と貴族たちの軌跡
●8月の新刊

216 フランスの中世社会を知る、明快な入門書。ヨーロッパ連合E.U.の原点を探る。

大宰府古代史年表

付官人補任表（内容案内送呈）

川添昭三監修・重松敏彦編
五三六年から一五六六年まで、該史料にえたる大宰府関係記事を集成、対外関係、西海道地域との関わり、観世音などの歴史に加え、平安後期大宰府官人の動向にも留意した。大宰府関連の人物を集めた官人一覧を付載。
16800円 ●8月の新刊

永原慶二の歴史学

永原慶二追悼文集刊行会編
6300円 ●7月の新刊

倭と加耶の国際環境

東 潮 著
8450円 ●7月の新刊

奈良・平安仏教の展開

速水 信 編
10500円 ●8月の新刊

日本古代の家族と村落

菅本 教 著
13650円 ●8月の新刊

国家神道と民衆宗教

村上重良著
24150円 ●7月の新刊

王朝貴族の病状診断

服部敏良著
10000円 ●8月の新刊

歴史文化セレクション 毎月1冊刊行中
明治政府の国家神道と、世直しをよびかける民衆の新しい宗教的対決を究明する問題作。
平安貴族たちはどうな病状をもっていたのか。現代医学の視点から実生活にメスを入れる。



- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・千葉陽介>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 大月書店 113-0033 文京区本郷2-11-9 <担当者・大和定幸>
TEL. 03-3813-4651 FAX. 03-3813-4656
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <担当者・林 義則>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 柏書房 113-0021 文京区本駒込1-13-14 <担当者・竹内茂善>
TEL. 03-3947-8251 FAX. 03-3947-8255
- 京都大学学術出版会 606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9 京大図書館内 <担当者・堤 紀子>
TEL. 075-761-6182 FAX. 075-761-6190
- 思文閣出版 606-8203 京都市左京区田中閨田町2-7 <担当者・中江俊治>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・馬場辰也>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・吉田幸一>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・榎 祐典>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・蜂谷起義和>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2006年8月21日発行・第167号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店